

計画決定から 20 年を経て、通水へ ～ 梯川分水路の通水式を行います～

梯川は、昭和 46 年に国による河川改修が着手され、川幅の拡幅工事が進められてきました。梯川改修の一部である梯川分水路は、平成 8 年の計画決定から 20 年、平成 12 年の事業着手から 17 年を経て、このたび通水という大きな節目を迎えます。

この通水を記念するとともに、治水事業の役割や効果を地域の皆様にお伝えし、防災意識の高揚を図ることを目的として、通水式を行います。

1. 日 時 : 平成 28 年 11 月 20 日(日) 11:00~12:00 受付 10:30~
2. 場 所 : 小松大橋下流右岸堤防(小松市天神町地先)
別紙「チラシ」のとおり
3. 式 次 第 : 別紙「次第」のとおり
なお、通水(くす玉開披)に合わせて、UAV によるデモンストラ
ーション撮影*を行うこととしています
※気象状況により実施できない場合があります
4. 主 催 : 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
梯川水系河川改修促進期成同盟会

お問い合わせ先

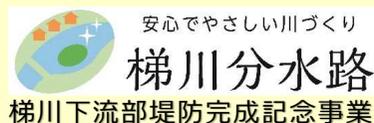
国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

河川副所長 石川 一栄 076-264-8800 (代表)

調査第一課長 堀内 崇志 076-264-9910 (調査第一課 直通)

FAX : 076-233-9612

梯川分水路 通水記念式典



～小松地区のまちづくり・川づくり・道づくり～

平成28年**11月20日** 日 11:00～12:00 (受付10:30～)

式典会場：小松大橋下流右岸堤防 (小松市天神町地先)



■主催：国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
梯川水系河川改修促進期成同盟会

梯川分水路通水記念式典

梯川の河口から3km右岸付近には、国指定重要文化財の小松天満宮があり、地域のシンボルとなっています。このため、平成8年に文化財保護の観点より、小松天満宮の移設を伴う引堤計画から文化財の現位置保存を可能とする分水路計画に変更しました。平成11年には、分水路計画についての都市計画決定がなされ、その後から現在に至るまで、まちづくり・川づくり・道づくりが一体となった整備が進められています。

平成28年11月、梯川分水路の通水を記念したイベントを行うことで、治水事業の役割や効果を地域の皆さまにご理解いただくとともに、防災意識の高揚を図り、今後起こり得る災害に備えるものです。



プログラム

1. 開 会
2. 式 辞
3. 挨拶
4. 来賓祝辞
5. 来賓紹介
6. 祝電披露
7. 工事説明
8. 通 水
9. 閉 会

式典会場のご案内



梯川分水路のあゆみ

1959 (昭和34年8月)	台風7号による洪水 (小松大橋地点1,390m ³ /s (推定))	本川・支川等堤防決壊、浸水家屋390戸
1971 (昭和46年)	梯川一級河川指定 工事実施基本計画策定 (基本高水流量1/100:小松大橋地点 1,700m ³ /s)	
1974 (昭和49年)	梯川改修計画策定 (洪水調節施設で調節した後の河道流量:小松大橋地点 1,000m ³ /s)	
1996 (平成 8年5月)	直轄河川改修計画改訂 (分水路計画追加)	
1999 (平成11年1月)	都市計画決定 (前川合流点から白江大橋:分水路計画、小松大橋架替、市街地再開発との調和)	
2000 (平成12年)	分水路関連用地買収着手 (事業着手)	
2006 (平成18年)	小松大橋架替着手 (工事着手)	
2008 (平成20年6月)	梯川水系河川整備基本方針策定	
2011 (平成23年3月)	小松大橋架替工事完了 供用開始	
2015 (平成27年3月)	大川やわらぎ街道まちづくり完成	
2016 (平成28年3月)	梯川水系河川整備計画策定	
2016 (平成28年11月)	梯川分水路通水	

～梯川下流部堤防完成記念事業～
梯川分水路通水記念式

次 第

一. 開 会

二. 式 辞

梯川水系河川改修促進期成同盟会 会長 小松市長 和田 慎司

三. 挨拶

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課長 泊 宏

四. 来賓祝辞

衆議院議員 佐々木 紀 様

石川県知事 谷本 正憲 様

五. 来賓紹介

六. 祝電披露

七. 工事説明

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長 富山 英範

八. 通 水 (くす玉開披)

九. 閉 会